

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 内藤 宏仁 香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 病院助教

[研究課題名] 転移性腎細胞癌における薬物療法の有用性の後ろ向き検討

[研究の目的]

転移・再発を有する腎癌に対して分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬が導入され予後の改善が得られています。一次治療・二次治療における各種薬剤の治療成績・有効性のエビデンスはあるが、それ以降の薬剤の医学的根拠は乏しいです。実臨床における再発性・転移性腎細胞癌における薬物療法の治療成績を明らかにすることは今後の腎癌治療に有益と思われれます。

本研究では当院での施行した再発性・転移性腎細胞癌における薬物療法の治療成績・有用性に関して検討します。

対象となる患者さん

2001年1月1日から2022年4月30日の間に当院で治療を受けた腎癌の患者さん

利用する検体・診療情報

性別、年齢、PS(Performance Status)体重、身長、BMI、体表面積、臨床病期(cTNM)、血液データ、画像データ、転移性腎細胞癌におけるリスク分類(International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium(IMDC)リスク分類、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center(MSKCC)リスク分類)、病理組織学的情報、治療法、生存期間、無病勢増悪期間・合併症・有害事象を抽出する。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 担当医師 内藤 宏仁

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203